

一 般 質 問 通 告 書

佐野市議会議長 様

		受 付	番号 6
			令和 2年 2月18日
			午前・ 午後 5時13分
議会名	令和 2 年 第 1 回 佐野市議会定例会		
発言者	議席番号 9 番 亀 山 春 夫		
答弁を求める者 (選択してください)	市長 ・ 副市長 ・ 教育長 ・ 担当部局長		
一般質問時に使用する資料の有無 (選択してください)	あり (資料提示 ・ 資料配付 ・ モニター使用) なし		
大項目 (質問項目) 中項目 (質問細目)	小項目 (具体的な質問内容)		
1. 作原沢入線観光開発について	①農山村振興課だけの対応では限度があることは理解するところではありますが、観光への取り組み次第で林道の価値の引き上げにつながり、栃木県も市に対して要望するところであると聞いております。協力体制の考えはあるのか。 ②林道にどのような付加価値を付ければ更なる観光誘客が図れるのか、また、利活用の向上が図れるのか、構想を考えるべきと思うが、どうか。 ③現状ではせっかく開通した作原沢入線が全く機能しておらず、栃木県としても国や県の新たな事業の補助制度活用の基本となる佐野市の今後の作原沢入線の観光開発をプラスした将来展望を描いて欲しいとのことであります。これに応える考えはあるのか。 ④平成 17 年の合併当初に佐野市・みどり市との県境(頂上付近)に見晴らし展望台の設置についての要望があったと聞いております。作原山林会の所有する場所に良い所があります。構想を描いてはどうか。 ⑤一般市民より、佐野桜を寄贈したいとの申し出を伺っております。佐野市民をあげて作原沢入線の観光誘致への意識の醸成を図り更なる利活用に努める必要があると考えるが、どうか。		

	⑥作原沢入線は山岳林道であり、ウェブカメラの設置などでヤシオツツジや紅葉の様子など四季折々の様子が配信出来るようにして広域観光誘致をすべきと思うが、どうか。 ⑦現在多くの自転車・バイク等のツーリングが見うけられておりますが、みどり市との交通交流の一日も早い復旧を期待したいところです。台風第19号の影響で更なる通行止め解除が難しくなってしまったとは思いますが、質問の中で提案をしているところでありますので、良くご理解を頂き、佐野市としての取り組みが県の支援の基本となりますとのことです。早期解除に向けた考えを伺う。
2. 台風第19号被害の早期復旧について	①台風第19号による市内の被災状況の概要を伺いたい。 ②佐野市復旧・復興ロードマップの「すまいと暮らしの再建」の中に含まれない個人の生活橋についてはどのような支援策があるのか、伺う。 ③秋山川、旗川等栃木県所管の河川関連の道路・堤防・河床整備計画等はどのように把握されているのか。 ④農地の復旧については本年度中に調査を終えて具体的な復旧計画を推進するとの事でしたので、現在の状況を伺う。
3. 今後の防災・減災対策について (1)ハザードマップについて	①大雨注意報や警報の発表、洪水注意報・警報及び避難勧告や避難指示等は大型台風接近で「命を守る行動を取って下さい」との報道もあり、身動きが出来なくなることが予想されることから、台風接近の前日よりハザードマップに従い、企業・市民に具体的に安全に留意した指示を出す必要があったのではないかと市民の声をお聞きしておりますが、今後どのように避難情報、避難指示などが発表され、どこに安全に避難すべきかなどの具体的な行動を呼びかける必要があると思うが、どうか。 ②ハザードマップにおいて急傾斜地危険箇所、土砂災害警戒区域情報はあったものの、今回の豪雨ではまさかと言う災害が小川からも発生しました。ハザードマップの更新と旗川沿いの浸水想定区域

	を新たに加えたマップを7月までに市内全戸に配布するとお聞き致しましたが、地域ごとの避難場所の話し合いや高齢者などの避難誘導は誰がどの様にするのかなど地域との連携はどの様にするのか、伺う。 ③ハザードマップの検討には栃木県との連携も必要と思いますが、今回の災害では人命の被害がなかったことは良かったと思います。土砂災害警戒区域などの指定は栃木県が決定しているところではありますが、過去の災害事例から危険が予想される沢や傾斜地の指定なしの箇所は今後どの様に対応するのか。
(2) 中山間地における防災・減災対策について	①特に中山間地における防災・減災対策が重要となっております。上流部からの土石流等により、堤防の決壊、道路の崩壊、濁流による橋の崩落・農地への土砂の流出、水路の崩落等による沢水の越水被害などの今回の被害を教訓にし、時間はかかると思いますが、どの様に山林の適正管理を始め治山・治水事業を進めるのか伺う。
(3) 災害時の市民への情報伝達手段について	①台風接近中で豪雨の中では防災無線が全く聞こえないとの市民の声があります。接近前に防災無線で注意報・警報を「命を守る」為にも大変な事態なんだという事を知らすべきではないかと思います。今後の為に経験を生かしてどの様に防災無線を活用できるのか、伺う。 ②今回の経験から防災ラジオの必要性が高くなっております。今後検討したいとの事でありましたが、積極的に導入する事を考えるべき時期と思いますが、必要性をどう考えるか。